

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2016/06/24

「森林は海の恋人」
森から海へ川の役割
天神川の水ササグ採集からはいじまる川の水カニズムについて学習をした。これからの学習傾向は、アクティブ・ラーニング方式、主体性を求めて「個人で何かを考へたり調べたりする授業」
「自分達でテーマや調べ方を決めてやる授業」

平成28年6月24日(金) 4年生 65名
環境学習 講座開催
渋川小学校

「これからは先生から社会科普通通りの授業を行くことではなく、答えを教えることにまよ何せこのようにやるのかを創造力を持ちながら×カニズムを歩くと言った方法が教える側も受ける側も面白く授業が出来、これが必要であり意見感想も多分出て来る。アクティブ・ラーニングとは体験しながら答えを解きながらこのように授業がこれからの主力になる。」



2016/06/24

「ボウチテストの説明」



2016/06/24

天神川における水質調査 C/D パッケージは12グループに分かれて実施しました。川の水質調査は平均6.0ppmでした。やど魚と昆虫達が生育するデータでした。昨年とは生態系は多少増加していましたが今年も魚はあまり見られませんでした。
海と森と川の役割。
海藻や植物プランクトンの生育に欠かせないワカサギ、鉄イオン成分が山の腐葉土に由来し、それが地下水に溶け込んで川にしみ出し、海へと至る。
一般的に魚は直射日光の当たる場所よりは木陰を好む。水中に張り出した樹木の根や樹木の陰が小魚の安全な隠れ場所になる。
樹木が生い茂ると、さらには種々の昆虫が生育し、水面に落下するものも多い。
夏には落葉が樹から一歩も離れたら、一旦土にたどり着くと、昆虫が水面に落ち、水質を汚す。魚の餌にもなる。その効果は大きい。

水質調査実験をしている生徒。



2016/06/24

「ボウチテスト何色に染まったかな？」



2016/06/24